

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西 規之

卒業生へ贈る言葉（Ⅳ）

学校だより第38号に引き続き、この6年間で、卒業式間近の学校だよりを書いてきた内容を振り返ってみたいと思います。卒業後の生き方の参考にしてもらえれば幸いです。

令和元年度卒業生へ

（令和2年3月10日発行 学校だより第25号より）

素晴らしい話を先輩の先生から伺ったので、私1人のものにしておくのはもったいないので、卒業する皆さんに紹介します。

朝の掃除に取りかかったお母さんは、机の上に2つ折りにした紙を見つけました。開いてみると息子の裕君の字で、このようなことが書いてありました。

請求書

1、お使いに行き賃	100円
2、庭の掃き賃	200円
3、妹のおもり賃	250円
合計	550円

お母さんへ 裕より

裕君のお母さんはにっこりとうなずき、そのまま掃除を続けました。さて、裕君のお母さんは次に何をしたのでしょうか。夕方、裕君は元気よく学校から帰ってきました。机の上には、今朝の請求書と550円がきちんと乗せてありました。裕君の喜びは言うまでもありません。次の朝、裕君が準備のために勉強部屋へ行くと、机の上に1枚の紙が乗っています。そこにはお母さんの字で何かが書いてありました。

請求書

1、風邪の時の看病代	ただ
2、えんぴつ代	ただ
3、おせんたく代	ただ
合計	ただ

裕君へ

お母さんより

これを読んだ裕君は胸がいっぱいになり、今にもこぼれそうな涙を抑えて、学校へ急ぎました。途中、2つの請求書と550円がぐるぐる回り始めました。そのうち、裕君の心には1つの決心が浮かびました。「お金はいらない。大好きなお母さんのためにできることなら何でもしようと・・・」。

本日の卒業にあたり、今日までのことを振り返ってみてください。これまで、どれほどの方に、どれほどのお世話をしてもらってきたでしょうか。朝、なかなか起きられない時、遅刻しないように何度も起こしてくれたのは誰ですか。入学式のとき、他の皆さんと同じようにと制服や通学カバンを用意してくれたのは誰ですか。風邪やインフルエンザで体調を崩した時、心配して看病したり病院へ連れて行ってくれたりしたのは誰ですか。忘れ物をしたとき、そっと学校へ届けてくれたのは誰ですか。休日の部活動の大会や練習のある日、朝早くからお弁当を作ってくれたのは誰ですか。進路のことで心が不安定になったり、友だち関係で悩んだりしたとき、心から話を聞いてくれたのは誰ですか。数えればきりがありません。あなた

～裏面へ続く～

の命が生まれた日から、たくさんの方々があなたを見守ってくれました。あなたは、どれほどのことをしてもらってきたのでしょうか。そして、どれだけのことを返すことができたのでしょうか。あなたにとって、一番大切な人は、一番身近にいるのです。そのことをこれからも肝に銘じてほしいと思います。



ホームページを日々更新中！！